

令和 7年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: スポーツ振興課

担当名: スポーツ連携・企画担当

内線: 6959

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
P22	トップスポーツを活用した「する」「見る」推進事業			一般会計	総務費	県民費	県民活動推進費	県民スポーツ振興費	
事業期間	令和 6年度～ 令和 8年度	根拠法令	スポーツ基本法第6条、第7条、第21条、第22条、第24条、埼玉県スポーツ振興のまちづくり条例			針路 分野施策	08 0804	支え合い魅力あふれる地域社会の構築 スポーツの振興	SDGsゴール 3 SDGsターゲット 3-4
1 事業概要	<p>トップチームや国際試合等の試合観戦を促進する施策の実施により、県民が身近にスポーツを感じる機会を提供し、スポーツ実施率の向上や現地観戦者割合の増加を狙う。</p> <p>トップスポーツを活用した「する」「見る」推進事業 経費節減及び国際試合の開催がなかったことによる支出の減 △2,157千円</p>			<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容 ア トップスポーツを活用した「する」「見る」推進事業 18,744千円</p> <p>(2) 事業計画 ア スポーツチーム試合観戦促進事業 (ア) 県内スポーツチーム観戦・応援アプリ「すぼったま！」の運用 R6年度に開発した県内スポーツチーム観戦・応援アプリ「すぼったま！」による県内チームのチーム情報、国際試合を含めた試合情報等の発信 (イ) すぼったま！特集記事等の制作 県独自のコンテンツとして、チームや日本代表選手のインタビュー記事等を制作 (ウ) スマホスタンプラリーの実施 すぼったま！参加チームの試合観戦を促すスマホスタンプラリーの実施</p> <p>(3) 事業効果 トップチームや国際試合等の試合観戦促進により、県民がスポーツを身近に感じて興味を持ち、スポーツを「する」・「見る」ことを始めるようになる。 また、県民がチームや競技を横断して観戦する「多競技スポーツ観戦文化」が醸成され、各チームの認知度やファンが増加・定着し、スポーツ資源としての価値が向上する。 【活動指標(アウトプット)】 すぼったま！特集記事9本、スマホスタンプラリーの実施 国際試合PR動画2本、国際試合PR記事3本 【成果指標(アウトカム)】 すぼったま！ユニークユーザー70,000人、スタンプラリー参加者7,000人 → スポーツ実施率・現地観戦者割合の向上</p> <p>(4) 県民・民間活力・職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 県内スポーツチームやメディア(新聞・テレビ・ラジオ等)、鉄道会社等と連携した広報の実施</p> <p>(5) 補正予算の概要 経費節減及び国際試合の開催がなかったことによる支出の減</p>					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.5人=4,750千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	△2,157							△2,157	16,587
現計額	18,744							18,744	

事業内訳書

事業名	トップスポーツを活用した「する」「見る」推進事業		
単位事業名	トップスポーツを活用した「する」「見る」推進事業	予算額	△ 2,157千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△2,157	—	
合計	△2,157	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△9	—	経費節減による支出の減
需用費	△285	—	経費節減による支出の減
役務費	△117	—	経費節減による支出の減
委託料	△1,746	—	国際試合の開催がなかったことによる支出の減
合計	△2,157	—	